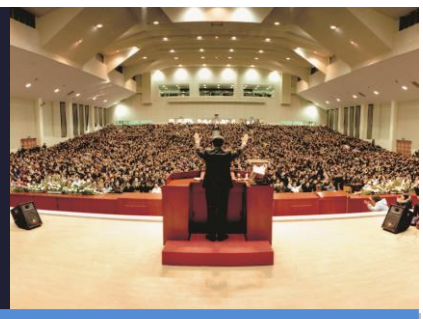
第 2018-42 号

恵みと真理のニュース



2018 年 10 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

信じて希望しながら神様の栄光のため求めた祈りを神様が答えてくださいました。

私は将校として軍隊で服務をする時、軍隊の牧師から始めて福音を聞くようになりました。牧師はイエスキリストを信じ神様を畏れて霊肉が健康で神様が下さる知恵と能力で中隊を導くように祈って祝福してくださいました。除隊した後からも周りの多くの方々が私を伝道しました。しかし、宗教に関心がなくイエス様はただ偉い人４人の中で一人だと思った私に福音は余計な話でした。そうだった私がイエス様を真実に信じる妻と結婚しました。イエス様を信じる人がいなかったわたしの家庭で神様が真実な妻を送ってくださいました。妻は教会学校の教師として熱心に奉仕しながら家庭の福音のため早天祈り会と徹夜祈り会に行って休まずに神様に祈りました。私と共に教会に行って神様に礼拝を捧げるのがわたしの希望だという妻の頼みで仕方なく教会に行きましたが、その時もわたしは礼拝に参席するだけで見物客でした。
雨が降っているある日に傘をさして静かな道を散歩するのに急に稲妻がはしり、雷が鳴り、強い光でその場で気を失って倒れてしまいました。 しばらく後、気が付いたら全身が雨にびっしょり濡れており、傘は形が分からないほど壊されていました。
その事があって１２月３１日のことでした。妻は教会に行って私は一年を振り返って考えながら部屋で横になっていると、本棚に置いてあった聖書が目に入りました。奇異な光が光っているのを発見しました。（妻が私に神様の御言葉をたくさん読んで学んで熱心に主の事をして、執事になって按手執事になって、いつかは長老になり、もっと大きく主の事をする人になるようにとプレゼントしてくれた聖書でした。私はこの聖書を今まで本棚に放置しておきました。）
私は立ち上がって聖書のほこりを払ってきれいに拭いて、聖書をもって教会に走り行きました。妻の手に導かれて仕方なく一度二度行った聖殿を一人で行く時、霊の目が開くように十字架で両手を広げて私を歓迎している神様が見えました。するとわたしの体は温かいお風呂に入るような感じでこの世では比較できないほどの良い香りを嗅ぎました。礼拝を捧げながら過去を振り返って見てたくさん泣きました。
今まで自分なりに義でまじめに生きて来たと自慢した私はイエスキリストを受け入れなくて神様を不信して生きる人が罪人であるのを悟りました。イエスキリストを救い主として、わたしの主人として受け入れ、サタンの僕の身分から離れて神様の子供になり天国の民の聖徒の清い福なる身分になりました。私は救いの恵と真理を知った後、救いの確信を持つようになってこう決断しました。
“どんな環境でもどんな場所にいても主日礼拝は必ず我が教会で礼拝を捧げて、神様に礼拝して皆勤賞をもらうと決断しました。”“神様が立たせた場所を守りながら熱心に奉仕します。”“救いを受けたこの感激と感謝を持って最後まで信仰の競走をします。主に向かう初恋とこの信仰は変わりません。最高のものを捧げます。１年１回は聖書を読み遂げます。このように決断と共に神様の愛に向かって足を踏みました。このことを決断して３５年間、私が守るように神様が信仰を下さって、主が下さった熱心さで、わたしの人生を守ってくださり、導いてくださいました。妻の切ない祈りを聞いた神様はわたしの家庭を完全に福音化させてくださり、私に長老の職分も下さって教会と聖徒を仕えもっと主に忠誠と奉仕をする機会を与えてくださいました。尊き神様の恵みと愛に感謝捧げます。
私たちの夫婦が健康なのに結婚して５年が経っても子供が出来なくて神様にはらみの福を求めました。特に妻は心を尽くして聖書を書きながら神様に祈りました。区域礼拝ことに聖徒達も共に祈ってくださいました。神様の恵みで結婚して１０年ぶりに妻が妊娠しました。ところが、喜びもありましたが、妻の機関紙があまり健康でなくて炎症治療のため薬を飲みましたが、その薬が胎児にとても致命的であるのを知りました。胎児がどうなるのか非常に心配になっていろんな病院に行って検査を受けました。その後、ある日、礼拝に参席して御言葉を聞き祈る時“恐れるな”という主の声が聞こえてきて出産のため続けて神様に祈って、神様から健康な息子を賜りました。私達が結婚して１１年、子供を持つため神様に祈って５年目になった年でしてた。
ハレルヤ
子供は健やかに良く育ちました。小学校３年の時、私をついて教会で奉仕すると主日の朝早く起こしてくださいと言ったから私が起こしたら一言も言わなくて先に教会に向かいました。一度二度で終わると思ったのにわたしの考えが間違いました。
小中高を通いながら一度も休まずに私をついて教会に来て、私が奉仕する事務室で執事と長老と共にお菓子を食べてから教会学校に行って聖殿の掃除もして祈って礼拝を捧げました。青年奉仕宣教会で賛美チームで奉仕した息子は今は宣教のビジョンを持った事業家で熱心に自分の人生を開拓し生きています。
私は何よりも魂を救うことに神様が用いてくださって感謝捧げます。永遠な天国を受けた神様の子供として、御言葉と聖霊で満たされた恵と真理教会を仕えると神霊な自負心とプライドを持ってスウォン聖殿の男性奉仕連合会の伝道部で奉仕したのが２５年が超えました。一人の魂を大事に思ってくださる主の心で部員達と共にスウォン駅やナンモン市場や病院などで行って福音を伝える時、多くのイエス様を信じない人々が教会に来て決信するように背入れ様がお働いてくださいました。伝道に力を尽くすように力と心に感動を与えてくださり伝道の実りを多く実られるように伝道の扉を開いてくださった神様に栄光を捧げます。
病院のお見舞いと伝道をしながら長い間病床についている患者とその家族が苦痛しているのを見て母のため祈りました。神様が天国に呼ばれるその日まで健康で過ごしながら寝るように平安に天国に召されるように神様に祈りました。また、３５年間私が主日の礼拝を休まずに捧げたように母の葬式のことで礼拝を休むことがないように神様に祈りました。そして昨年５月でした。最初の主日に母はアンヤン聖殿に行って礼拝を捧げ娘と共に外で食事をしました。火曜日の夜には孫達にのり巻きを作って食べさせて家の外で見送りました。そして、水曜日の朝、母が電話を受けなかったので家に入ってみたら讃美歌を開いて普段お休みになるその姿勢で８８歳に天国に召されました。水曜日から金曜日まで神様の恵みで礼拝を捧げて聖霊の助けと導きの中で葬式を良く終えて、私はあいかわらず主日に教会の奉仕を終えて母の墓に行って家族と共に神様に感謝礼拝を捧げました。信仰と希望の中で神様の栄光のため求めた祈りを神様が応答してくださいました。
ハレルヤ！
私を救ってくださり、きわめて神様の子供にしてくださっていつも共におられながら豊かな愛でわたしの抱いてくださる神様に感謝します。御言葉と聖霊で行く道を照らしてくださり、万事が益となるように共に働く栄光の道で導いてくださるわたしの主、神様に感謝と賛美と栄光を捧げます。
罪と過ちで死んだ私のため十字架に死なれて私に永遠な命を与えてくださるため復活なさったイエスキリストに対する愛が私の生きる動機です。私にあるすべてが神様が与えてくださったのを知り体と心と時間と物質で献身して最後まで忠誠を尽くすのがわたしの人生の目的です。相変わらず主を愛し、いつもどこでも何をしてもいつも共にする真の幸せになる者にしてくださった神様に真に感謝と賛美を捧げます。神様愛します。

［信仰コラム］　絶対的な判断基準

”だから，飲むにも食べるにも，また何事をするにも，すべて神の榮光のためにすべきである”（コリント人への第一の手紙 10:31）

憲法は国家の基本の法則として国民の基本的な人権を保障して国家の政治組織構成と政治作用の原則を定めて市民と国家の関係を規定したり形成する最高の軌範です。大群衆のデモ、政治家の組織的で集団的な要求、多数言論の一致された主張だとしても法の秩序に合わない行為と要求、主張は妥当性が喪失されたことです。憲法以外にも人々は各分野で数多くの基準を作って使用しています。全てのことを正確、迅速そして、効果的に分類して測定し、処理するためです。しかし、人が作った判断基準には絶対的で永遠なことはありません。憲法も修正して改正することができます。絶対的な判断基準は人が作ったことではなく神様が与えてくださったことです。
第一は、聖書は絶対的な判断基準です。
聖書には神様が啓示なさった御言葉が予言者と使徒達を通じて記録されています。私達の信仰と生活の絶対的な原則と基準が記録されています。パウロが第２次伝道旅行でベレヤの人々に福音を述べ伝えると、ベレヤの人々はパウロの伝道と講論に対してとても慎重で真剣な態度で聞き、果たして聖書がそのように話しているかを詳しく調べました。その結果でユダヤ人とヘラの貴婦人と男の中で信じる人が多くいました。このような態度を私達が見習うべきです。聖書を判断基準に扱わないと異端の私設に誘われます。福音の真理から離脱された神学思想や教理に従います。宗教混合主義、一致主義、多元主義、新神学、自由主義神学に従うようになる根本な理由は聖書を絶対的な判断基準に扱わないからです。
第二は、神様の光栄のため、主を喜ばせる、キリストが尊くなるのが絶対的な判断基準です。
ある思想や行為に対して判断しようと聖書がどのように話しているかを調べようとすると容易くありません。聖書は分量が多く、広範囲に記録されているからです。しかし、私達が日常的な事事について容易く判断することができる基準があります。一、全てのことをする時”神様の光栄のためにすることか？”という質問が判断基準です。二、”主を喜ばせることなのか？”という質問が判断基準です。三、”主を尊くすることなのか？”という質問が判断基準です。このような質問をすると聖霊様が可否を悟らせてくださいます。
第三は、礼拝と伝道、主の事が絶対的な判断基準であります。
礼拝と伝道と主の事は全ての聖徒の使命であり喜びで幸福です。仮に、衣食住に関することが豊かでなくても礼拝と伝道と主の事を思う存分にできるなら満足します。この世に永遠に居する所がないということを認識しながら天にある本郷を慕いながら生きるからです。
ダニエルは 30 日間は王以外に他の神や人にお祈りすると獅子の穴に投げ込むという詔書に王の判がつかれているのを知っても前日行った通りに自分の家で一日 3 回神様にお祈りしました。新約聖書のヘブライ書 11 章には神様に仕えるためで殉教を受けた聖徒、投獄された聖徒、鞭を打たれた人々、当て所もなく漂い歩きながら窮乏と苦難、虐待を絶えた人々、広野と山と土窟をさ迷った人々について記録しておきました。彼らには礼拝と伝道、主の事より重要なことがありませんでした。
国家指導者や制度、体制が礼拝と伝道と主の事をするのを難しくしたり脅威を与えるそのような状況が来ないように常に警戒して積極に対処すべきです。わが国は他の国とは異なって国家安保や教会の安全と直結されています。解放の後、今日までの歴史と現実の証拠以外に他の証拠が必要ではありません。北朝鮮には教会が一つもありません。キリストを信じることが発覚されると今も直ちに処刑されます。従って、誠なキリスト人が持つ選択と判断基準は一致するしかありません。
皆さんは、このような基準で全てのことを判断することで常に最上の選択と決定をするように祝福します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

四つ種類の金持ち（その2）

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

「イ　先週に続いて、新約聖書の福音書に登場する金持ちのお話を説明します。先週の日曜日には、「愚かな金持ち」と「最も可哀そうな金持ち」について説明しました。今日は他の２つを見てみましょう。彼らのお話には、救いの真理と知恵の生の教訓があります。

まず、「悲しい気配を帯び心配し離れた金持ち」のお話を見てみましょう

あるひとりの人が 走り 寄り， みまえにひざまずいて 尋ねました，「よき 師よ， 永遠の生命を 受けるために， 何をしたらよいでしょうか」彼はユダヤ社会で指導的な位置にある管理であり、富は多くの金持ちの青年でした。彼は宗教的な生活にも格別な熱心を見せてまことの態度で生きていく人でした。彼はイエスに質問しました**「よき 師よ， 永遠の 生命を 受けるために， 何をしたらよいでしょうか イエス は 言われた， 「なぜわたしをよき 者と 言うのか． 神ひとりのほかによい 者はいない． いましめはあなたの 知っているとおりである． 『殺すな， 姦淫するな， 盗むな， 偽證を 立てるな． 欺き 取るな． 父と 母とを 敬え』 すると， 彼は 言った， 「先生， それらの 事はみな， 小さい 時から 守っております 」**と言いました

イエスを愛する心で彼を見て言われました。**「イエス は 彼に 目をとめ， いつくしんで 言われた， 「あなたに 足りないことが 一つある． 帰って， 持っているものをみな 賣り 拂って， 貧しい 人々に 施しなさい． そうすれば， 天に 寶を 持つようになろう． そして， わたしに 從ってきなさい 」**その若者は富が多い金持ちだったので、この言葉を聞いて悲しい気味に心配し、**顔を 曇らせ， 悲しみながら 立ち 去った． たくさんの 資産を 持っていたからで** イエスを残していきました。この物語は、私たちに霊的な教訓を提供しています

第一は、イエスに対して歪曲された先入観を持っていれば、永遠の命を得るのに決定的な障害されるという事実を教えてくれます。

多くの人々がイエスに対して大きく誤解された先入観を持っています。誤った認識をしています。歴史上、優れた思想家、教師、道徳君子、宗教家、慈善団体、殉教者と言います。釈迦、孔子、ソクラテスに匹敵する聖者と認識しています。誰でもイエスに対して歪曲された先入観を持ったまま、永遠の命の道理を知ろうと答えを得られず退くされます。金持ちの青年は、イエスに向かって、「良い先生」と呼ばれていました。イエスは彼に向かって答えて「あなたはなぜわたしをよき師と呼ぶのか？神一人ほかに善い者はない。」しました。この言葉は、イエスは善いという意味ではありません。金持ちの青年のイエスの先入観が間違っているのを明らかにしています。彼はイエスを普通の人ではなく、「善い先生」と認識したイエスは、聖三位の一体である聖子の神様です.

第二は、間違った価値観は、永遠の命を得る決定的な障害されるという事実を教えてくれます。

金持ちの青年は、質問するのを、「私は何をすれば、永遠の命を得るのですか？」でした。永遠の命は善を行って得るようになるという誤った先入観を持っていました。神が人に求められる善や義は絶対的なものです。このような善を行うことができる人は誰もいません。このような事実を彼に知るようイエスは十戒命の中の人間関係で守るべき戒めを列挙しました。彼は「先生、これは私が子供の頃から保ちました。」と自信満々に答えました

イエスを愛する心で彼を見見ながら言われました。**「あなたに 足りないことが 一つある． 帰って， 持っているものをみな 賣り 拂って， 貧しい 人々に 施しなさい． そうすれば， 天に 寶を 持つようになろう． そして， わたしに 從ってきなさい」**イエスは彼の富に最高の価値を置いていることを知っていました。したがって、善を行い、永遠の命を得るという彼にそれとしては到底に行うことができないと言われるので、永遠の命を得る道理を悟るようにしようとしました。しかし、彼は富がなくなるのを望んでいないので、悲しい気味にしてイエスを離れ立ちました。

永遠の命は何よりも大事なことです。永遠の命を得た者は、将来復活して変化の体で天国で主と共に永遠に生きることです。したがって、永遠の命に比べれば、この世は非常にすくないことです。富があり、なしは、永遠の命の価値に宝されたり損失を与えません

第三は 誤った先入観を持ったり、富に最高の価値を置く人でも、神は救われることができるという事実を教えてくれます。

金持ちの青年が離れ去っていった後、イエスは弟子たちに言われた、「富のある者は、神の国に入るのが非常に難しい。」としました。弟子たちが驚いて、イエスが言われました。 「神の国に入るのがどのように難しいかラクダが針の穴に入ることが金持ちが神の国に入るよりも容易である。」弟子たちは、さらに驚い互いに言った、「それでは、だれが救いを得ることができだろうか？」としました。イエスは彼らに「人には不可能で、神はそうではないから、神はすべてのことが可能である。」と言われました。聖霊がいろいろの方法で人を低くして、割れ破ると誤った先入観を捨てしまうになります。そしてラクダは針の穴に入るよりも難しいでも、永遠の命を得られます。

次は、「神の国に入る道を知るために夜中にイエスのところに来た金持ち」に関するお話を見てみましょう。

深刻な病気を持った人が癒しを受けるためにはいくつかのコースがあります。まず、自分に深刻な問題があることに認めなければなりません。次は、優れた治療師に会わなければなりません。そして、医者のアドバイスと指導を忠実に従わなければなりません。すべての人生が例外なく持っている最も大きく、深刻な問題を解決を受ける道も同様です

第一は、自分にある深刻な問題を認めなければなりません。

今日の本文に登場するニコデモはパリサイ人であり、律法学者でありサンヘドリン議会の議員であり、かなり多くの財力を持った金持ちでした。彼は当時のユダヤ社会で尊敬と羨望の対象であった。これらのニコデモが自分にある重大な問題を認識しました。

彼は、自分が救いの道について無知であり、どうすれば神の国を見ることができるかについても無知であることを悟りました。当時パリサイ人たちは、イエスについて非常に敵対的であった。それでもニコデモはユダヤ社会での自分の地位や身分を気にせず、イエス様に出ました

第二には、すばらしい治療師に会わなければなりません。

人生が持っている絶望的な問題に対する答えをくださる方は、イエス・キリストだけです。したがって、誰でも罪と罪責の問題、生活の虚無と無意味の問題は、死と来世の問題を解決を受ければイエス・キリストの前に出るしかありません。イエスは、自分がこのような問題を解決していただく救世主であることを明らかに言われました。彼の誕生と行った事と十字架につけられ死と復活と昇天を通して証明されました。ニコデモは告白するのを **「先生， わたしたちはあなたが 神からこられた 教師であることを 知っています． 神がご 一緒でないなら， あなたがなさっておられるようなしるしは， だれにもできはしません 」**としました。ニコデモはイエスの行った事と教えについて注意深く見て結論を得ました。イエスと同じことを行なう方がないことと、天から来られた方の以外は天国に入る道を教えてくれないという結論を下しニコデモはイエスを探し見つけてきました。

第三には、、医者のアドバイスと指導を信じて、これを積極的に応る必要があります。

ニコデモはイエスに自分の無知を素直に明らかにしたし、天の国に入る道を尋ねました。イエスがニコデモに言われた。**「よくよくあなたに 言っておく． だれでも 新しく 生れなければ， 神の 國を 見ることはできない」** ニコデモは言いました。**「人は 年をとってから 生れることが， どうしてできますか． もう 一度， 母の 胎にはいって 生れることができましょうか 」**イエスは答えては**「よくよくあなたに 言っておく．だれでも， 水と 靈とから 生れなければ， 神の 國にはいることはできない． 肉から 生れる 者は 肉であり， 靈から 生れる 者は 靈である」と**しました。ニコデモが**「どうして， そんなことがあり 得ましょうか 」**尋ねると、イエスは言われた

「ちょうど モ ― セ が 荒野でへびを 上げたように， 人の 子もまた 上げられなければならない． それは 彼を 信じる 者が， すべて 永遠の 命を 得るためである 神はそのひとり 子を 賜わったほどに， この 世を 愛して 下さった． それは 御子を 信じる 者がひとりも 滅びないで， 永遠の 命を 得るためである」ニコデモはイエスから罪の赦しを得て、神の国に入る福音を聞くようになった、これを信じていました。その後、彼は、イエスへの信仰を人々に積極的に示す行動をしました

二週間に渡って「愚かな金持ち」「最も貧しい金持ち」「悲しい気配をして心配し離れ去っていった金持ち」「神の国に入る道を知るために夜中にイエスのところに来た金持ち」について探して見ました。あなたはその中に啓示された真理と恵みがあなた自身のためのものだと告白して、証できるのをお願いします。